



校友会会報

第13号

2007年1月1日

編集・発行

酪農学園大学同窓会
校友会報編集委員会
〒069-8501 江別市文京台緑町582
同窓生会館内

☎ (011)386-1196
FAX (011)386-5987
HP: http://dousoukaikouyukai.
web.infoseek.co.jp
E-mail: rg-kouyu@rakuno.ac.jp

同窓会活動を省みて



同窓会校友会会長
石田 貞夫

我々同窓生は母校のキリスト教に基づく、三愛精神、実学教育の実践から、建土建民の理想を高く掲げ建学の精神、特に(1)何事にも積極的努力を惜しまない精神(2)常に物事を冷静に観察、思考する態度(3)人と人との心のふれ合いを大切に自己を見つめる思いやりの心を育てる人間愛の教育を受けてきました。

大学同窓会は、1964(昭和39)年末、樋浦誠初代学長の再任が不可能となった為、4月3日同窓会を設立、5月大学同窓会臨時大会を開催し、樋浦誠初代学長の再任要求を決議し、その夜東京出張から急遽帰られた黒澤西蔵園長と創生寮の寮長室で会の決議を説明、樋浦学長の大学運営の実践と人間教育の成果を訴え、黒澤園長が深い思いをされた当時の様子が脳裏に残っています。

その後卒業したばかりの一期生、二期生は職場での自由な時間の取れない中であっても学園教職員の同窓生の協力を得て、農業経済学科、獣医学科が設立され、各学科の特色を生かした同窓会活動が展開され1973(昭和48)年6月同窓会連合会(義塾、短大、機農高、三愛高、大学)が設立され1980(昭和55)年短大創立30年、大学20年の年に同窓生会館として短大棟を改修し、1983(昭和58)年学園創立50周年記念式典、同窓生会館を学園に贈呈、開館され皆様よりの募金額は2,300万円でありました。1989(平成元)年に、それまで酪農学部としての同窓会組織から各学科同窓会の活動が活発化してきた事により、校友会組織に改め、今後増設される学科同窓会が中心になり、事務局を立ち上げ特色ある活動が出来る組織とし、現在は3学部7学科となります。

定年により第二の人生を歩み始めた同窓生は酪農学科五期生、農業経済学科二期生、獣医学科一期生で1000名を越え、今後毎年400~500名の同窓生が歩む事になります。今一度母校愛を心の中心に据え、個々の考えを校友会の組織の充実と発展の為御助言、御指導をいただき、新しい風を吹き込んでいただきたくお願い申し上げます。

校友会単位同窓会活動報告

酪農学部

酪農学科

酪農学科同窓会事務局長
野 英二

・同期会等の開催

今年度の酪農学科同窓会活動の最大イベントは、ホームカミングデーに併せて開催された卒業周年記念同期会であった。ホームカミングデーは卒業生が母校に帰り、親睦を図ることを目的としていますが、毎年同窓生の参加が少ない状態でした。そこで、今回は、同窓生が母校に戻るきっかけとなることを期待し、ホームカミングデーの記念礼拝・記念講演および卒業周年記念同期会懇親会の開催を企画しました(2006年9月16日)。懇親会には酪農学科卒業35・30・20・10周年、農業経済学科卒業35周年の合同で開催されました。参加された卒業生は72名(酪農35年:17名、30年18名、20年22名、10年9名、農経35年5名)でした。教員は、平尾理事長、大谷学長をはじめ旧教員4名(井上昌保・篠原功・菅沼英二・原田勇先生)および現職教員8名でした。参加者同窓生から「久しぶりの恩師や旧友との再会で青春時代がよみがえり、楽しい時を持つことが出来ました。」とのハガキも頂いております。次年度以降もこのような企画を催したいと思っておりますので多くの卒業生の参加を期待しております。

卒業周年記念同期会以外にも酪農学科6期生同窓生クラス会(10月7日、同窓生32名・旧教員3名)、酪進会(家畜管理・行動学研究室同総会、11月4日)が開催されております。クラス会等の開催があれば事前に事務局までご一報下されれば幸いです。

・絵葉書の作成

同窓会が大学や学生とのパイプを強固にする目的として、酪農学科同窓会で絵ハガキ(キャンパス内風景写真5枚組)を作成しました。絵ハガキは、大学酪農学科と短大酪農学科の新入生に対し、大学入学までにお世話になった方々にお礼や近況報告をするようにとのことで配布しました。また、委託実習履修者(2年生)には、委託農家への礼状に用いるように配布しました。

農業経済学科

農業経済学科同窓会事務局長
加藤 浩

▼2006年1月7日（土）北見東急インにて第19回現地研究会を開催しました。農業経済学科小系健太郎氏を講師に招き、「北海道酪農及び畑作の生産性分析」という題目で勉強会をしました。OBを含め総勢16名が参加しました。

▼3月15日には札幌ガーデンパレスにおいて第42回農業経済学科卒業記念祝賀会が開催されました。総勢約100名参加しました。

▼7月7日新札幌アーキシティホテルにて農業経済学科同窓会主催「農業経済学科の未来を語る会」が開かれました。この会議は本年度学科設立以来、初めて入学者定員を割った事を受け、同窓会として学科と協力して何か対応策が取れないか思索した結果、大学外部のOBの方と学科教員が同じテーブルに着き、外のOBからみた農業経済学科は今、どのように映っているのか、またこれからの魅力ある農業経済学科を再構築するにはどうしたらいいか、本当の意味での「ざっくばらん」な意見交換を行うことにより何らかの糸口を見つけようとするのがねらいです。

▼7月14日農業経済学科主催によるバレーボール大会が開かれました。3、4年合わせて約50名参加しました。恒例により農経同窓会より「特別賞」を授与いたしました。



食品流通学科

食品流通学科同窓会事務局長
西田 智

1994年に食品流通学科の第1期生が入学して、早くも今年で第13期生の入学生を迎えることになり、卒業した同窓生も780名を越すまでになりました。

しかし他の学科に比べ、まだまだ歴史の浅い学科でもあり、食品流通学科同窓会の活動は毎年、卒業パーティー等を行うことだけに留まっています。

2003年には学科主催の創立10周年記念のお手伝いという形で活動をおこないました。その時は懐かしい友人やお世話

食品科学科

食品科学科同窓会事務局長
岩崎 智仁



食品科学科同窓会は、発足して今年で11年目となりました。設立当時は、様々な運営上の問題等がありましたが、現在は安定した財源の基に、同窓生の住所録管理に重きを置いて運営を行なっています。その他の活動として、毎年、卒業生に対して、卒業記念パーティーや学位記の桐箱等を贈呈させて頂いています。さらに、2006年8月5日、京王プラザホテル札幌にて食品科学科第5期生の同窓会が開催され、その後援をさせて頂きました。第5期生は1996年度に卒業していますから、卒業10年目という節目の同窓会でした。食品科学科同窓会の事務局長として、また、同じ同期生として、このような会が開催されることを非常にうれしく感じました。他の卒業期の方々にも、同期会を是非開催していただきたいと思えます。食品科学科同窓会として、全面的にご協力させていただきます。今後も食品科学科の同窓会活動にご理解とご協力頂けますようお願い申し上げます。

になった先生と交流することができ、とても楽しい時間を過ごせたと思います。

卒業してしまうと同期の友人と会ってゆっくり話ができる機会はなかなか難しいと思いますが、友人同士での飲み会、サークルでの飲み会、研究室での飲み会など、少人数での飲み会で、同窓会の話が少しでもでて、徐々に皆で集まりたいなどの声が徐々に集まれば、15周年、20周年などの節目に大きな活動（大宴会）ができるのではないかと思いますので、これを期に卒業してご無沙汰している友達に連絡を取ってみたいかがでしょうか？

その際に少しでも同窓会の話が出てくれば幸いです。

獣医学部

■獣医学科

獣医学科同窓会事務局長

加藤 清雄

獣医学科同窓会では、同窓会誌「三愛」を発行すること、そして記念同期会や各地で開催される同窓会を支援することを中心事業として活動しています。同窓会誌「三愛」は今年度で36号を数えるに至りました。この同窓会誌は学科や同窓会に関する記事と会員名簿が合冊になっており、卒業生の増加とともに厚さが増し36号は340頁に達しました。個人情報保護するという観点から各種名簿が姿を消しておりますが、本同窓会では会員から掲載の許可をとって発行しております。この同窓会誌が獣医学科同窓生の絆を強めていると考えております。

獣医学科では、卒業10周年を迎えた年に必ず記念同期会を開催しております。黒澤記念講堂に集まり記念礼拝を執り行い、厳かな式典を通し歩んできた日々を振り返り気持ちを新たにします。懐かしい学舎や新しい施設を見学し、大学の発展ぶりを確認した後は、温泉に向かい恩師とともに夜を徹して思い出話を花を咲かせるのが恒例になっております。一度集まると、20年後、30年後も集まろうということになり記念同期会が恒例になります。



昨年度、獣医学科では新規事業として同窓会長賞「三愛賞」を制定いたしました。同窓生として活躍した同窓生の部と当該年度に卒業する卒業生の部を設けました。同窓生の部第一号は国会議員として活躍された北村直人氏に、卒業生の部第一号は馬術部で活躍し中央競馬会に就職した中井健司氏に贈られました。

獣医学科の同窓会では、卒業時に徴収する会費だけでなく、毎年2000円を徴収する年会費制をとっております。毎年納めるというのはなかなか大変なようで、ついすっかり忘れてしまう人が多いようです。獣医学科の卒業生も定年退職者が出始めたことや、これまでの同窓会活動に敬意を表して終身会員制度づくりしました。卒業30周年を迎えた期以上の会員に適用し、2万円納めると毎年会費を払う必要がないという制度です。多くの卒業生の賛同が得られ、これまで滞納していた会員も永年会員の登録をする方が多く、会費徴収の促進に大きな助けとなりました。

紙面には書き尽くせない様々な活動を行っておりますが、多くは同窓生の親睦に関するものが主であり、今後の活動を考えるとき、大事な課題は大学の発展にいかに関与する同窓会になれるか、ではないかと考えております。

環境システム学部

■経営環境学科

経営環境学科同窓会事務局長

永田 真弓

1. 卒業生への贈呈
 - 1) 桐箱
 - 2) 卒業記念品として名刺入れ
 - 3) 卒業式後に集合写真を撮影しその後の祝賀パーティにて配布
2. 祝賀パーティ（アークシティホテル）
 - ・祝賀パーティの会費補助1人3,000円
3. 卒業記念品として中央館1F2Fに照明設置を検討するも資金面・設備管理面の問題で断念。2005年度は記念品なしとし、照明に関しては大学への要望・提案という形となった。

■地域環境学科

地域環境学科同窓会事務局長

吉田 陽平

1. 2005年度活動内容
 - ・卒業生祝賀会（3月）
 - ・卒業記念品贈呈（シャチハタ付きボールペン）
 - ・卒業記念桐箱贈呈
 - ・卒賞記念写真贈呈
 - ・学科会報作成
2. 解決できた内容
 - 会計処理の分担を明確にするようにできたこと
3. 課題として残った部分
 - ・行事が少ないということと早めに計画をたて準備するという部分
 - ・ホームページ開設
4. 校友会事務局に対する要望
 - 特になし



第15回 ホームカミングデー開催

2006年9月16日(土)に第15回ホームカミングデーが開催されました。例年6月の白樺祭に合わせて開催していましたが、今年度から遠方からの卒業生が参加しやすいように、9月の連休に開催する事と致しました。

山口宗教主任の礼拝、高橋連合同窓会会長の挨拶に続き、大学農業経済学科1期生で北広島FMメイプル局長(元STVアナウンサー)の大澤宏一氏による記念講演を行い、人生の中では人との出会いが大切だというお話に感銘を受けました。又、学内見学ツアーも実施され久しぶりに訪れた学園で、近代的な施設に驚嘆し、屋上から望む風景に往時を思い出されておりました。ホームカミングデー後は学科同期会やマルコ寮の同窓会など多数開催され、遠方からも大勢の卒業生が参加し再会を懐かしむ光景が見られました。

来年度は9月15日(土)に開催予定ですので、ホームカミングデーに合わせて同期会等を計画していただき、母校を訪れてみては如何でしょうか。



記念講演をされる大澤氏

ホームカミングデーへのご協力に感謝

校友会事務局長 加藤 清雄

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。昨年は、生産調整のため生乳が廃棄処分されたり、「健康飲料」の代名詞的存在の牛乳を「有害」とする説が書籍やネット上で取り上げられるなど、酪農に携わる者にとっては決して明るい年ではなかったように思います。それでも新たな年に希望を託して、お元気で新年を迎えられたことと思います。

昨年この紙面で、ホームカミングデーを活性化することが今期事務局長に課せられた最大の課題であると書きました。そのホームカミングデーは、昨年9月16日に開催されましたが、卒業して区切りの良い年を迎える同窓生に同期会開催の呼びかけを行いましたところ、多数の同期会や寮の同窓会などをホームカミングデーに合わせて開催していただき、多くの参加者を得ることができました。受付が混雑し礼拝の開始時刻を少々遅らせたものの、記帳ができなかった人も多く、正確な人数を把握することも困難なほどでした。ホームカミングデー活性化の階段を1つ昇ることができたような気がします。ご講演を快くお引き受けいただきました大澤宏一様はじめ、ご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

また、こんなに卒業生が来ているのに現職教職員の参加が少ないなどのご批判もいただきました。さらに工夫を凝らし、この日に来れば恩師や仲間に出会えることを保証できるような行事になるよう、そしていつか黒澤記念講堂が同窓生で溢れるようなホームカミングデーを実現できるよう、微力を注ぎたいと思っております。

2006年度酪農学園大学同窓会校友会理事・代議員会報告

5月26日(金)新札幌アーキシティホテルにて2006年度同窓会校友会理事・代議員会が開催された。(出席者24名、委任状30名)石田校友会会長を議長に選出し、第1号議案:2005年度事業報告、収支決算、第2号議案:2006年度事業計画、予算案について質疑討議の後、原案通り承認された。又校友会のあり方について活発な意見交換がなされた。

会計報告 2005年度決算および2006年度予算について下記の通り承認された。

収 入		(単位:円)	
項 目	2005年度決算	2006年度予算	
前 年 度 繰 越 金	9,919,125	9,894,232	
分 担 金	2,547,000	2,760,000	
利 息	1,485	1,500	
助 成 金	10,000	10,000	
ホームカミングデー助成金	145,000	150,000	共催団体より
雑 収 入	40,000	30,000	
合 計	12,662,610	12,845,732	
支 出			
項 目	2005年度決算	2006年度予算	
会 議 費	123,871	100,000	理事・代議員会他
連 合 同 窓 会	640,200	640,200	負担金
在 学 生 関 係	100,000	150,000	白樺祭支援他
会 報 関 係	213,900	250,000	印刷代他
ホームカミングデー費	185,752	200,000	
シ リ ー ズ 小 冊 子	78,980	100,000	印刷代、郵送料
コ ン ピ ュ ー タ ー 費	14,332	100,000	HP更新他
人 件 費	1,172,996	1,200,000	事務局長手当含
通 信 費	31,068	50,000	電話代、郵送料
旅 費 交 通 費	56,880	50,000	理事・代議員会交通費他
慶 弔 費	10,000	50,000	
事 務 用 品 費	91,252	70,000	
消 耗 品 費	19,132	20,000	
雑 費	30,015	30,000	
小 計	2,768,378	3,010,200	
次 年 度 繰 越 金	9,894,232	9,835,532	
合 計	12,662,610	12,845,732	

事 務 局 だ よ り

今回のホームカミングデーは黒澤記念講堂での講演後、中央館ホールに場所を移動してミニパーティーで歓談しました。準備の為何度か往復した私は、息はゼーゼー足はガクガク、日ごろの運動不足を痛感。デスクワークが多いからと言いつつながら身体を動かす機会を避けている日々。運動嫌いを治す薬はないかなあ〜。

(S. K)